

本書の刊行によせて

学長 高木 孝子 …………… i

はじめに

新田 義之 …………… 1

第一章 聖書と人間

…………… 5

聖書の人間理解

原田 豊己 …………… 6

新約聖書のなかの差別と共生

田代 菊雄 …………… 29

第二章 思索と信仰

…………… 47

神との絆・隣人との絆——孤独の闇から愛し愛される喜びへ

山根 道公 …………… 48

〈寂しさ〉からの開放を考える——キリスト中心の人間論に視点を移して

西内 清志 …………… 71

人間を探し求める神・神を探し求める人間——キリスト教的人間論の基底

須沢 かおり …………… 92

第三章 人間観と社会

…………… 119

人間の成長と文化——子どもの社会化の観点から

小林 修典 …………… 120

慈善から互恵へ——吉利支丹の医療事業を中心に
キリスト教と平和

新田 義之 …………… 140
葛生 栄二郎 …………… 159

第四章 人間論の歴史的展開……………

中世における人間論について——修道院を中心に

朝倉 文市 …………… 180

近代ヨーロッパ文学の人間観

金子 晴勇 …………… 200

おわりに

新田 義之 …………… 218